

みずほCustomer Desk Report 2025/05/15 号(As of 2025/05/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	147.39 AUD/USD
TKY 9:00AM	147.52	1.1188	165.13	1.3306	0.6473
SYD-NY High	147.66	1.1265	165.13	1.3361	0.6501
SYD-NY Low	145.62	1.1165	163.76	1.3254	0.6424
NY 5:00 PM	146.78	1.1174	163.97	1.3259	0.6429

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,051.06	▲ 89.37	日本2年債	0.7000%	▲0.0100%
NASDAQ	19,146.81	136.73	日本10年債	1.4500%	0.0100%
S&P	5,892.58	6.03	米国2年債	4.0582%	0.0560%
日経平均	38,128.13	▲ 55.13	米国5年債	4.1713%	0.0736%
TOPIX	2,763.29	▲ 8.85	米国10年債	4.5413%	0.0714%
シゴ日経先物	37,720.00	▲ 650.00	独10年債	2.6920%	0.0170%
ロンドンFT	8,585.01	▲ 17.91	英10年債	4.7120%	0.0410%
DAX	23,527.01	▲ 111.55	豪10年債	4.4880%	0.0570%
ハンセン指数	23,640.65	532.38	USDJPY 1M Vol	10.53%	0.79%
上海総合	3,403.95	29.08	USDJPY 3M Vol	10.63%	0.53%
NY金	3,177.25	▲ 70.55	USDJPY 6M Vol	10.40%	0.32%
WTI	63.15	▲ 0.52	USDJPY 1M 25RR	▲2.17%	Yen Call Over
CRB指数	298.41	▲ 2.12	EURJPY 3M Vol	8.93%	0.26%
ドルインデックス	101.04	0.04	EURJPY 6M Vol	9.24%	0.17%

東京	東京時間のドル円は、147.52レベルでオープン。新規材料に乏しいなか、実需や利食いのドル売り円買いフロー主導で終始軟調な展開。米金利の上昇一服感などもあり146.84まで下落したのち、147.01レベルで海外時間へと渡った。
ロンドン	ドル円は147.01レベルでオープン。前日の予想よりも低い米国の消費者物価指数(CPI)を受けて、USDは引き続き弱含む展開。韓国と米国が外国為替について話し合ったというヘッドラインがさらにUSDの売りを促し、ドル円は145.62まで下落したが、146.23レベルまで反発してニューヨークに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、海外時間に「米韓の政府高官が為替政策を協議した」との報道を背景に145.78まで売られる場面もあったが、その後は米金利の上昇につられ買い戻され、146.50付近まで戻す。午後は一部で報道された「米政権は貿易合意の一部としてドル安を模索していない」との速報が伝わると、147.10まで上値を伸ばす。その後は買い一巡となり、146.78レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1236まで上昇する場面も見られたが、その後は米金利の上昇に伴ったドル買いが重しとなり、1.12台ちょうど付近まで反落。午後も軟調な推移が続き、1.1165まで値を下げる。その後下げ渋り、1.1174レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大野・島

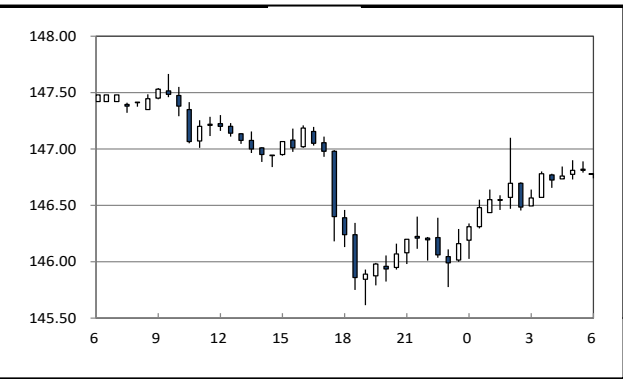
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月14日	15:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.4%/2.1%
	22:10	米	ジェファーソンFRB副議長 講演	関税が成長鈍化とインフレ加速招き得る

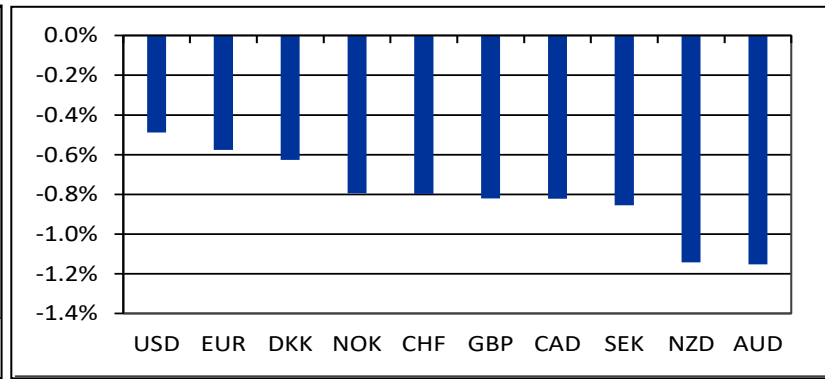
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月15日	10:30	豪	雇用者数変化/失業率	4月 22.5k/4.1%
	15:00	英	GDP(前期比/前年比)・速報	1Q P 0.6%/1.2%
	15:00	英	個人消費(前期比)・速報	1Q P 0.5%
	15:00	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -0.5%/-0.8%
	15:00	英	製造業生産(前月比/前年比)	3月 -0.7%/-0.5%
	15:45	仏	CPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.5%/0.8%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)	1Q S 0.4%/1.2%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	5月 -8
	21:30	米	小売売上高速報(前月比)	4月 0.0%
	21:30	米	PPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.5%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	10-May 228k
	21:30	米	フィラデルフィア連銀景況	5月 -11
	21:40	米	パウエルFRB議長 講演	-
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	4月 0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-147.50	1.1100-1.1250	161.50-166.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は欧州時間に大幅に下落。米韓関税交渉において為替について協議が為されたとの報道に起因しており、結果的に月曜日からの上昇分を取り戻す形となった。これまでの日米協議では為替が議題とはなっていないことや、先日の米中協議における米国の対外的印象(中国側優勢の譲歩)を踏まえると、来週のG7に合わせ開催予定の日米財務相会談では、いよいよ米国側が円安是正圧力を相応にかけられる可能性も視野に入れる必要があらう。とはいえ、足許では米国利下げ観測が後退していることからドルが一方向的に売られる展開も考えづらく、本日のドル円も底堅い推移が継続か。また、本日は米4月PPIや米4月小売売上高の発表が予定されているが、関税報道に神経質な動きを見せる現状のマーケット環境下においては、相場への影響は限定的とみる。

担当:大野・島